

2025年3月期 第2四半期

# 決算説明会

## ニデック株式会社



1 FINITY T900



1 FINITY T950

当社の水冷モジュールが富士通様の光伝送システム製品の一部に採用

### － 注意事項 －

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

前頁の写真は、富士通様が開発した光伝送システム「1 FINITY」シリーズのハイエンドモデル「T900」と「T950」です。当社の水冷モジュールがこれらに採用されました。 <https://www.nidec.com/jp/product/news/2024/news0902-01/>

## ■ 連結決算業績



(億円)	23年度 第2四半期 (累計)	24年度 第2四半期 (累計)	増減率	24年度 通期見込
売上高	11,574	12,938	+11.8%	25,000
営業利益	1,153	1,210	+4.9%	2,400
営業利益率	10.0%	9.4%	-	9.6%
税引前利益	1,449	1,002	△30.9%	2,500
親会社の所有者に帰属する 中間利益	1,057	756	△28.5%	1,850
一株利益 (円) (※1)	91.99	65.76	△28.5%	160.98
配当金 (円)	35.00	40.00	-	(※2)-
対米ドル為替レート				<想定レート> 米ドル=145円 ユーロ=155円 (下期想定レート)
平均・・・	141.00円	152.63円	+8.2%	
期末・・・	149.58円	142.73円	△4.6%	

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高100億円、営業利益11億円、ユーロは売上高19億円、営業利益4億円 (全てFY24通期ベース)

(注) 当社は、2024年10月1日付で、普通株式を1株につき2株の株式分割を行っています。

※1：前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、一株利益を算出しています

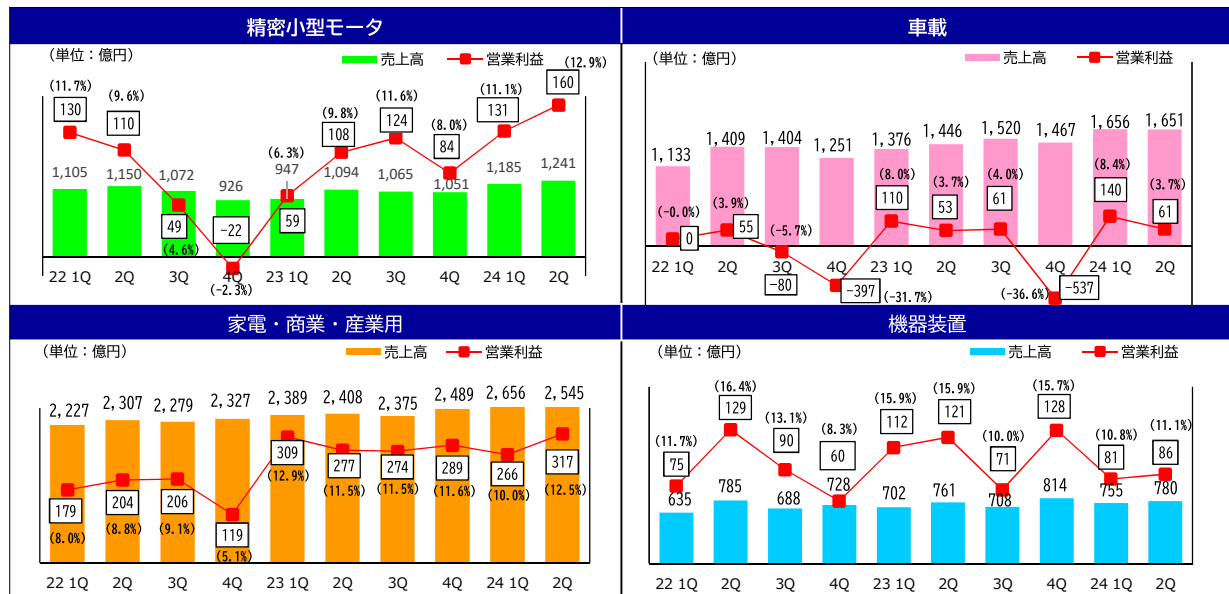
※2：年間配当金の合計金額については株式分割の実施により単純合算ができないため表示しておりません。株式分割前基準での1株あたり年間配当金予想は期末40円、合計80円となります。

3

## ■ 製品グループ別、四半期業績推移



( )内の数字は営業利益率



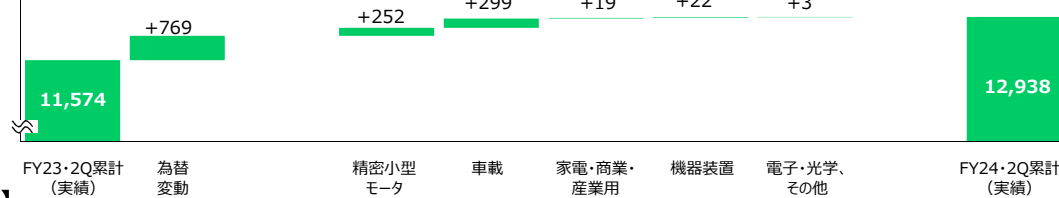
4

## 2024年度2Q(累計)の前年同期比増減分析



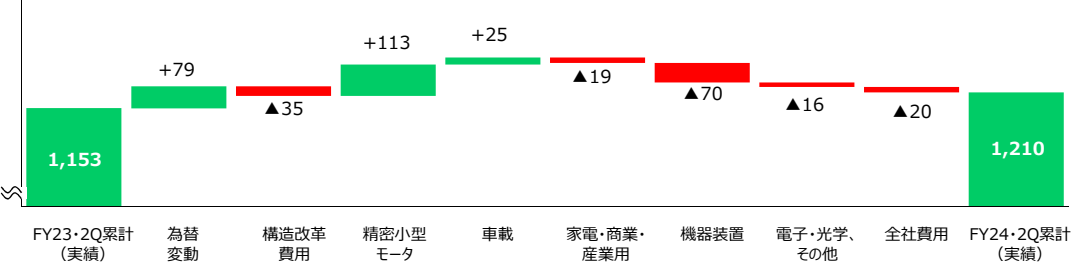
### 【売上高】

(億円)



### 【営業利益】

(億円)



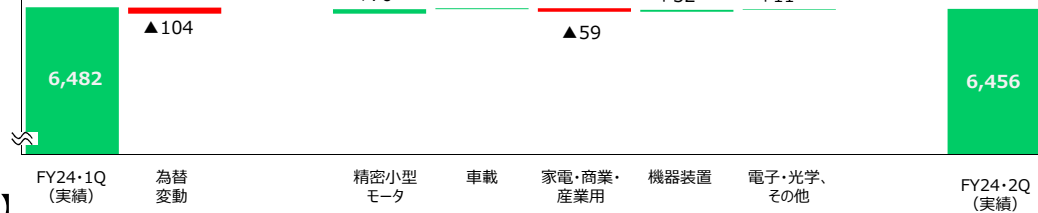
5

## 2024年度2Q(3か月)の直前四半期比増減分析



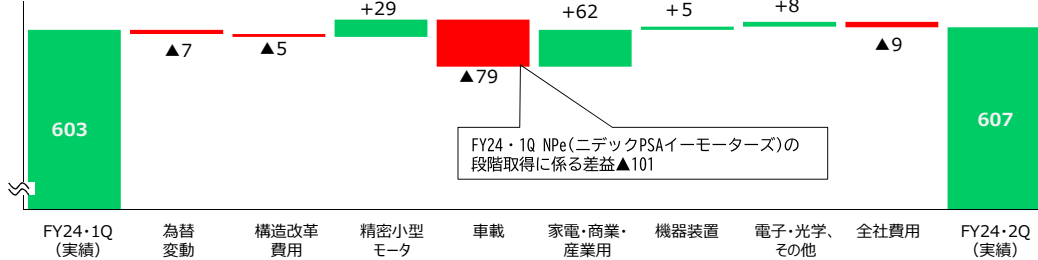
### 【売上高】

(億円)



### 【営業利益】

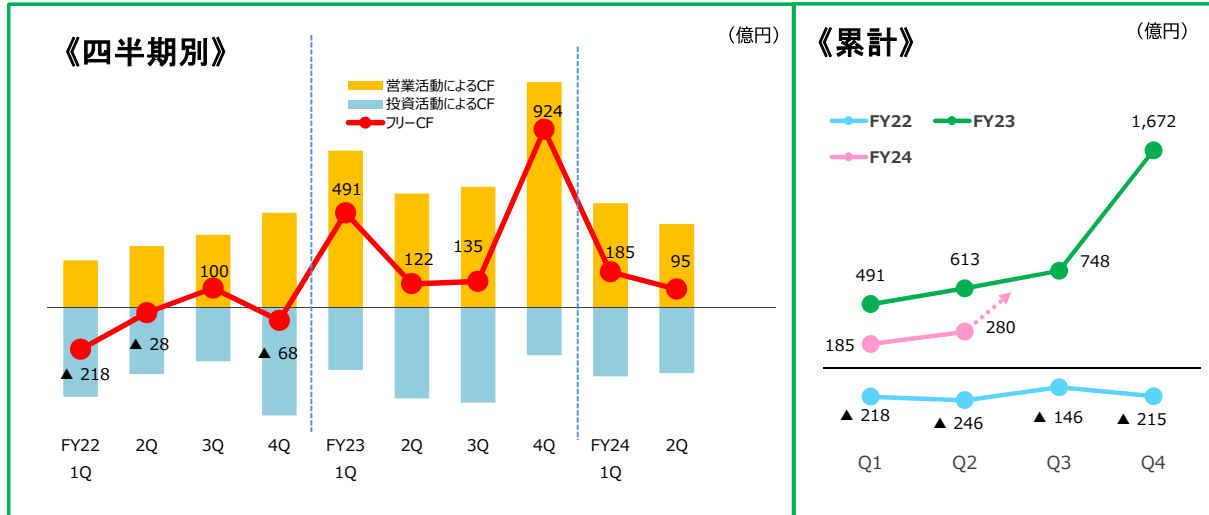
(億円)



6

## ■ キャッシュフロー経営の推進

キャッシュフロー創出力を向上し、企業価値最大化  
(成長投資、株主還元、有利子負債コントロールへ最適バランスで配分)



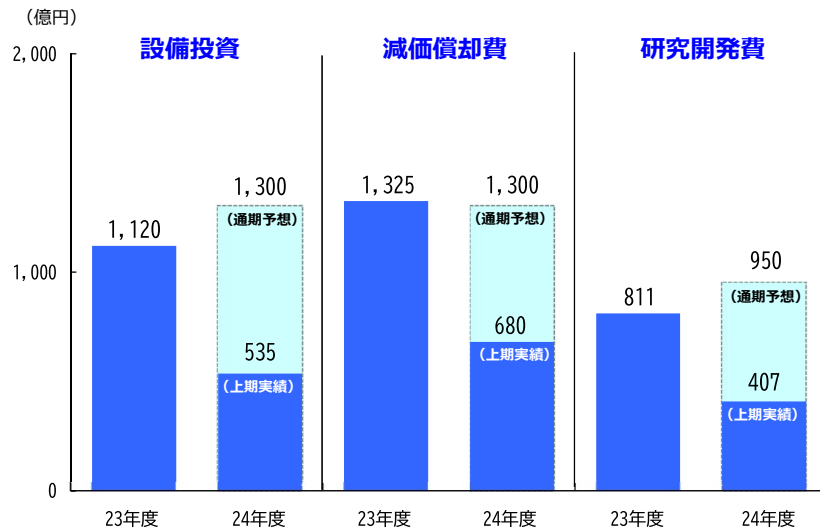
7

## ■ 決算ハイライト

- 連結売上高は前年同期比11.8%増収の1兆2,938億円となり、2Q累計で**過去最高を更新**。
- 営業利益は、前年同期比4.9%増益の1,210億円となり、2Q累計で**過去最高を更新**。
- 営業利益は、四半期ベースでの**過去最高を更新**。

8

## ■設備投資・減価償却費・研究開発費



中長期成長を  
支える積極投資  
は今後も継続

# 2Qトピックス

## ■ 車載事業の戦略転換

販売実績・現地調達力・コスト競争力を武器に多様な車載製品をグローバルに展開

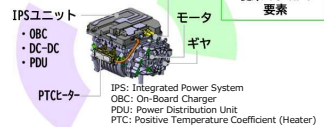
### トラクション事業

#### ① 合併会社に注力し、黒字化計画を着実に実行

▶GNAD  
(広汽零部件有限公司との合併会社,中国)

ニデック初となる7in1機種  
Gen3の開発完了・量産へ

[Gen3: 7-in-1]



▶NPe  
(ステラテイスとの合併会社,欧州)  
顧客の需要に応じた  
生産・供給

#### ② 部品単体ビジネス

欧州・中国OEMと商談中  
軽薄短小化、製造技術を武器に複数のOEMへアプローチ



### 既存事業

#### ① 商材カテゴリ軸でシナジー追求

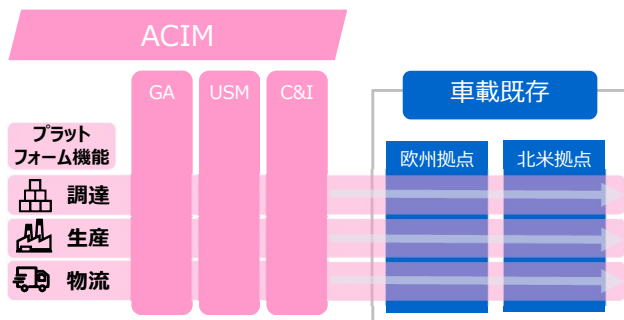
カテゴリ	事業会社/BU	商材
電装系	・ エレシス ・ モビリティ	ECU, インバータ
ボディ系	・ 車載既存 (AMEC) ・ アトバンストモータ ・ インサリメツ ・ 小型モータ (SPMS)	サンルーフ用, ライト用ファン, HUD用ステッピングモータ, ファン用
パワトレ系 ※トラクション 除く	・ 車載既存 (AMEC) ・ インサリメツ ・ パワートレインシステム*	パワステ用, ブレーキ用, 電動ウォーターポンプ, 電動オイルポンプ
シャーン系	・ インサリメツ ・ プレジジョン	アジャスタ用, ハブティクス

## ■ 車載事業の組織強化

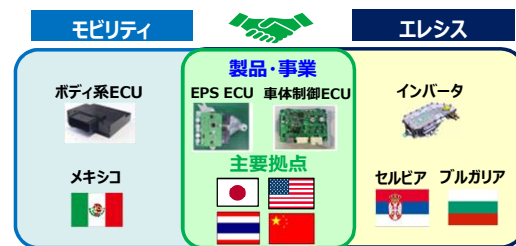
地域軸、製品・事業軸での最適化による更なる競争力の強化を図る

欧米オペレーションに強みを持つ家電産業  
事業本部 (ACIM) に車載既存事業を統合

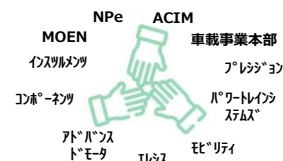
拡大する電子/電源制御領域において  
ニデックモビリティとエレシスの協業・知見集約



- ✓ ACIM各地域の生産統括組織に車載事業拠点を統合  
→ 課題拠点に入り込み、恒久的解決
- ✓ 共同購買によるスケールメリット享受
- ✓ 物流の共通化/最適化によるコスト低減



One NIDECで更なる付加価値と事業機会を創出



## ■ 水冷モジュール拡大戦略

AI社会を支える

**Nidec**  
-All for dreams

来る次世代GPU仕様サーバーによる需要急拡大に備え、水冷モジュールの戦略商材を続々と投入

サーバーラック



### 1. QC (Quick Coupling)

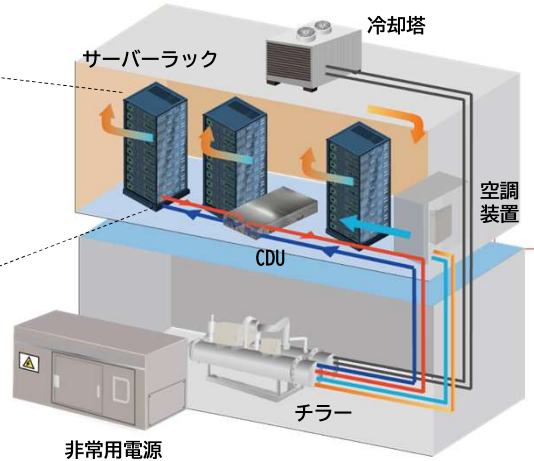
- 次世代GPUへの切り替えに伴い、内製品の量産開始。
- TAKISAWA製の複合機（新開発品）を導入。タイ（アユタヤ）・中国（平湖）・フィリピン（ラグーナ）に一斉導入し充分な生産キャパ確保。
- ヘリウムリーク検査を100%適用し品質最優先。

### 2. LCM (Liquid Cooling Module)

- 現行GPUに対応するLCMを、FY24下期中に量産開始。
- 次世代GPUに対応するLCMも、開発中。

### 3. CDU (Coolant Distribution Unit)

- 次世代250kW品を準備中。内製ポンプを投入予定。
- 従来のIn-Rackタイプに加え、In-Rowタイプの開発活動も進展中。



13

## ■ 家電・商業・産業用 (MOEN)

より良い生活の追求  
Better Life

サステナブル・インフラ  
と  
エネルギーの追求

AI社会を支える

**Nidec**  
-All for dreams

モーション&エナジー（MOEN事業）のさらなる中長期成長を見据え、生産キャパの拡大を図る

今後一大成長を遂げる  
インド市場に、MOENの  
全ラインナップを集結

再生エネルギーの普及に  
伴い急成長するBESS需要  
を獲得

北米データセンター向け  
補助電源用発電機の  
旺盛な需要を獲得

### MOEN フブリ第2工場

FY25より  
本格稼働

〔中・大型モータ、BESS、エレベータ  
関連、ドライブ/コントロール、等〕

- 顧客（グローバル大手&インド国内大手）からのインド市場における需要拡大に応えるための拡張投資。
- 印・商用車大手アシヨク・レイランド社とパートナーシップ契約を締結。同工場で商業EV向けE-Driveを生産。



印フブリ第2工場



E-Drive

### コンバージョン事業 フランス新工場

FY25より  
本格稼働

- EMEA市場における現在のBESS売上高は、自社の生産キャパを超過（外部委託を一部活用）。
- FY25からのBESS増産出荷に向けて、フランス（南東部）サンティエヌにBESS組立の新工場を設立。
- 将来の増産に備え、新工場と同等の組立工場スペースを確保。



仏サンティエヌ工場



BESS  
(バッテリーエネルギー  
貯蔵システム)

### 北米・発電機事業 米レシントン、メキシコ・ レイノサの生産キャパ 拡大

FY25より  
本格稼働

- 北米データセンター向け低・中電圧帯のオルタネータ市場において、当社は相対的に高い市場シェアを誇る。



データセンター

オルタネータ



米レシントン工場



メキシコ・レイノサ工場

14



## ■ 工作機械：グローバル受注体制の更なる強化

産業の生産  
効率化

**Nidec**  
-All for dreams

新製品・新技術の連打を通じて新市場を開拓、グローバル総合工作機械メーカーを目指す

### 新製品

- ▶ 高精度歯車加工の工程集約ニーズの高まり (TAKISAWAとマシンツールによる共同開発)



複合CNC旋盤「TS-4000 II YS」

- ▶ クルマの電動化や、高性能ロボット用減速機需要拡大によるニーズの高まり



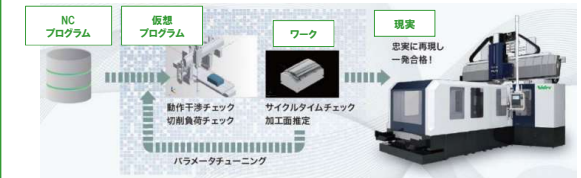
歯車研削盤「ZFシリーズ」



内歯車研削盤「ZI25A」

### 新技術(デジタルツイン)

- ▶ デジタル仮想空間で加工品位を事前検証。生産性の向上に寄与。



### 新市場開拓

Nidec工作機械グループ製品総合展示場を備えた新工場を立ち上げ。販売、開発、生産、サービスのグループ内連携を強化し、中国でのトップ市場シェアを狙う！



- ▶ 尼得科机床(浙江)がFY24下期から本格稼働を開始

15

## ■ M&A戦略(機械事業本部): Linear Transfer Automation社を買収

産業の生産  
効率化

**Nidec**  
-All for dreams

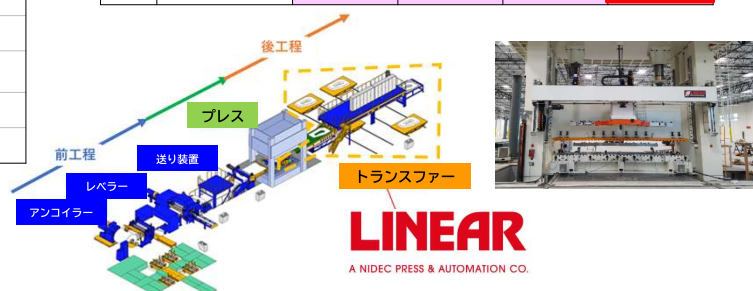
プレス機本体に前後工程を加え、プレス及びその周辺ライン一式を販売することでトータルシステムのソリューションを提供

### 【新子会社の概要】

社名	(i) Linear Transfer Automation Inc. (ii) Linear Automation USA Inc. (iii) Presstrader Limited
本社所在地	カナダ オンタリオ州バリー市
創業	1994年
事業責任者	ラマ・ジャヤウィーラ
事業拠点	カナダ・米国
事業内容	プレス周辺機器製造・販売・サービス等
従業員数	90名(連結)
売上高	2023年9月期:39.6百万カナダドル(約44億円)

### 【M&Aを活用しユニット化を実現】

主要アプリケーション		前工程	後工程	後工程	後工程
		アンコイラー	送り装置	プレス	トランスファー
小型高速	電子部品	不要	VAMCO/SYS	KYORI	不要
中・大型	モーター、製缶、中小型自動車部品	CHS/ARISA	CHS/ARISA	MINSTER/ARISA/KYORI	LINEAR
超大型	大型自動車部品	Automatic Feed	Automatic Feed	ARISA	LINEAR



**LINEAR**  
A NIDEC PRESS & AUTOMATION CO.

16

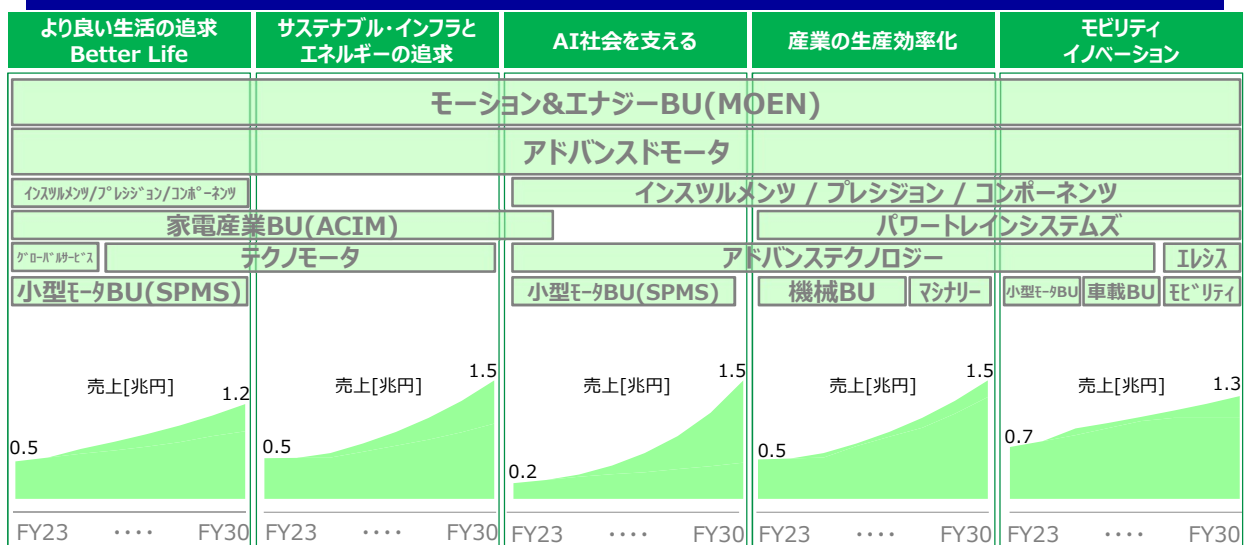


# 中長期の方向性

## ■事業5本柱：既存事業のフットプリント



既存のBU/グループ各社は事業5本柱すべてにリーチしており、社内にある強みを活かして柱ごとに深堀



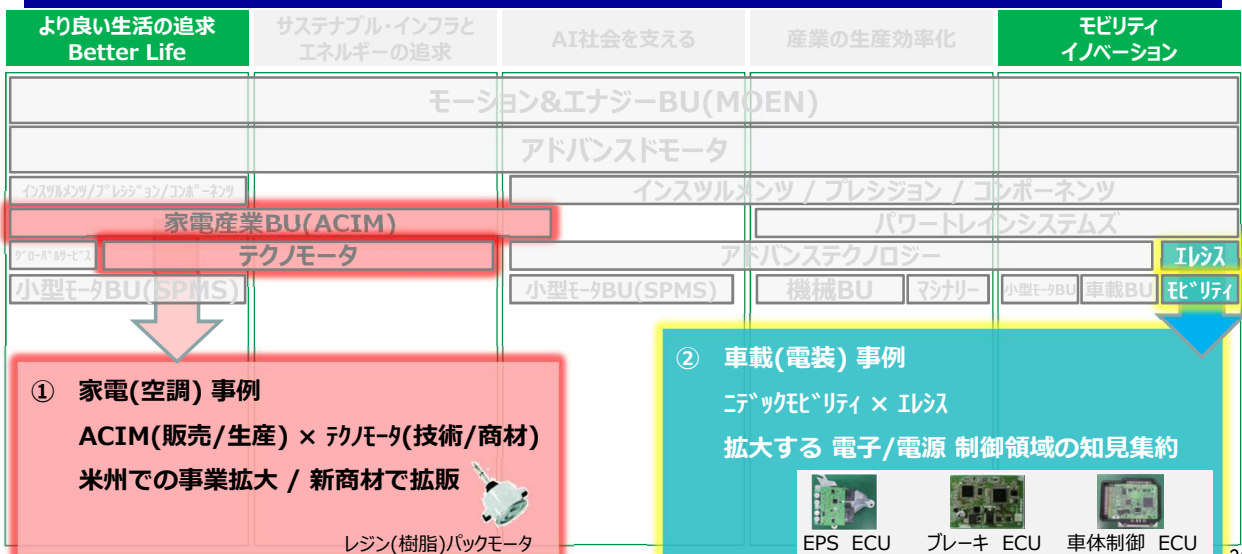
## ■事業5本柱：事業(タテ)の深化

各BU/各社の強みを活かし、協業 / シナジーの発揮でビジネス機会を獲得し事業拡大を目指す



## ■事業5本柱：事業(タテ)の深化

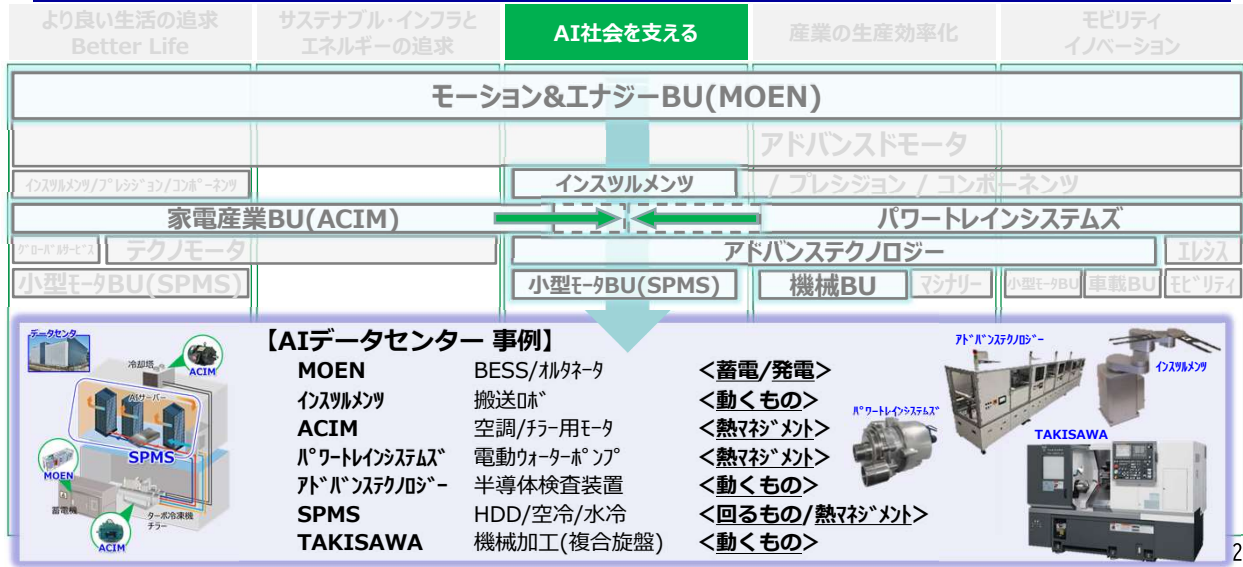
各BU/各社の強みを活かし、協業 / シナジーの発揮でビジネス機会を獲得し事業拡大を目指す



■事業5本柱：強み(生産/販売/開発)のヨコ展開



顧客目線 / 要望を意識し、既存事業の枠を越えて、グループ内の強み / 価値を提供(クロスセル)



お問い合わせ先

ニデック株式会社 IR部

Tel : 075-935-6140

E-mail : ir@nidec.com

注記：IFRS第3号「企業結合」の規定を適用しています。

前連結会計年度のAutomatic Feed Company、Lasercoil Technologies LLC、およびAutomatic Leasing Companyの持分取得により取得した資産、引き継いだ負債に関する公正価値評価が第1四半期連結会計期間に完了しました。これにより前連結会計年度の連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっています。

更に、前連結会計年度の株式会社TAKISAWAの株式取得により取得した資産、引き継いだ負債に関する公正価値評価を当第2四半期連結会計期間に見直ししました。これにより前連結会計年度の連結財務諸表については、暫定的な会計処理の見直しによる取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっています。

その他、前連結会計年度の買収により取得した資産、引き継いだ負債のうち、現在評価中の資産、負債については、当中間連結会計期間末日時点の予備の見積りに基づいています。

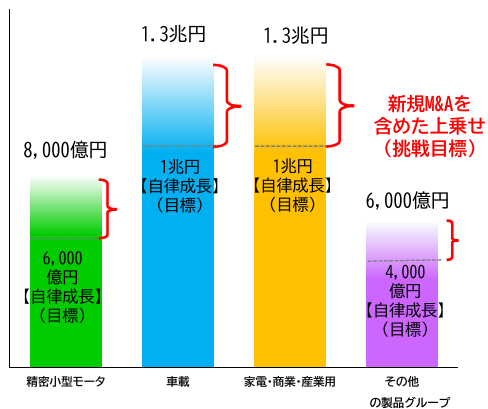
# 業績推移・ 製品グループ別状況

## ■ 中期戦略目標 Vision2025

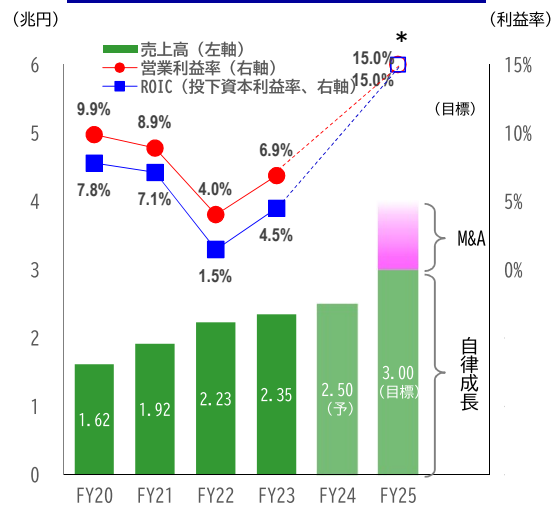


2025年度  
売上高：4兆円（目標）

売上高目標4兆円を製品グループ別に分解



売上高3兆円（営業利益率15%）  
とM&A1兆円で、計4兆円

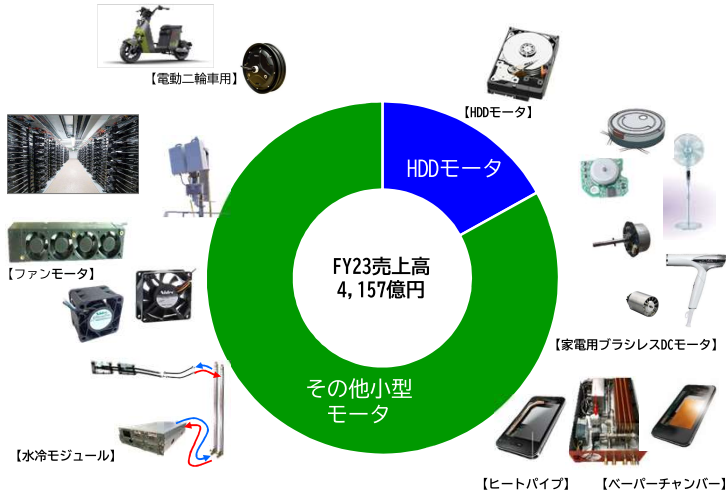


\* 2025年度の営業利益率目標15%は、自律成長（売上高3兆円分）に適用。

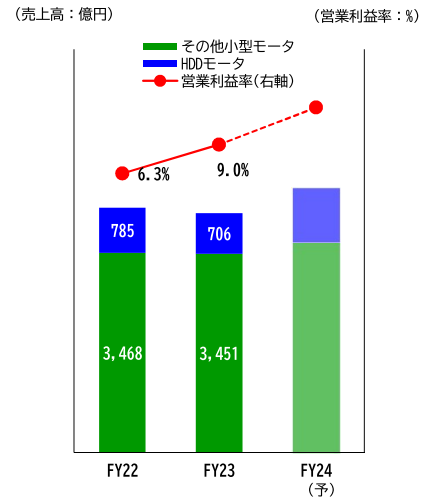
## ■精密小型モータ：サブセグメント別業績の内訳と推移

FY23中盤以降IT関連需要はスローながらも回復途上。生成AI関連で新ビジネスの萌芽

【精密小型モータの売上高ポートフォリオ】

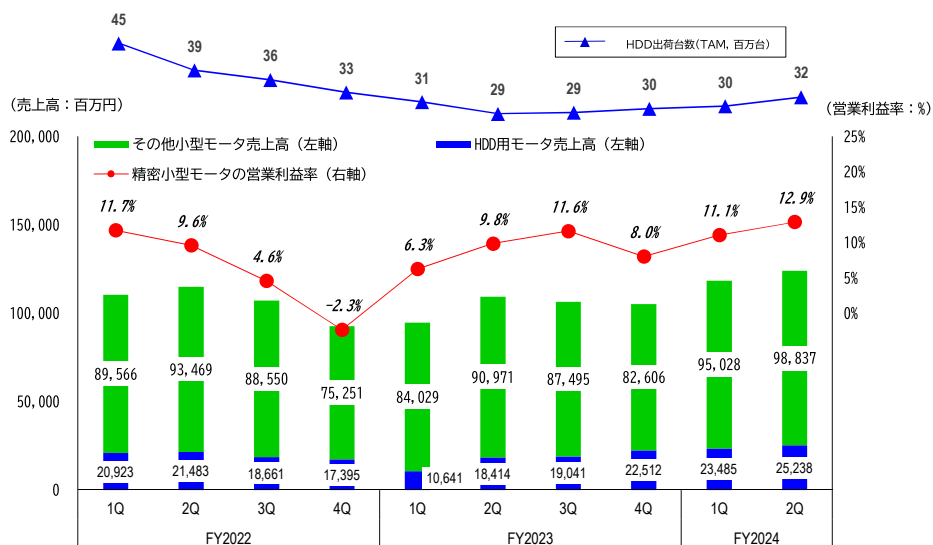


【精密小型モータの売上高と利益率推移】



## ■精密小型モータ：四半期別業績推移

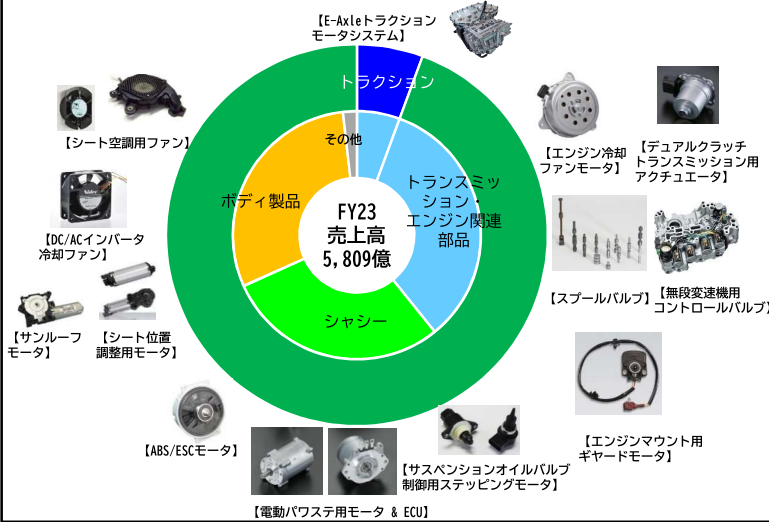
中期成長を見据えた種蒔きと短期業績の回復に向けたWPR-X活動を同時に推進



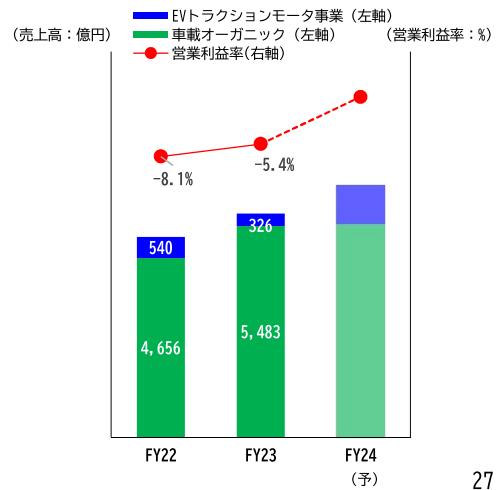
## ■ 車載：モータから周辺部品まで幅広く取り揃え

CASE革命による旺盛な電動化需要を待ち伏せし世界No. 1の車載システム企業を目指す

【車載の売上高ポートフォリオ】



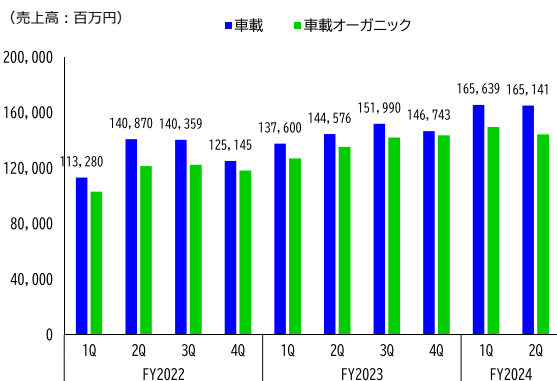
【車載の売上高と利益率推移】



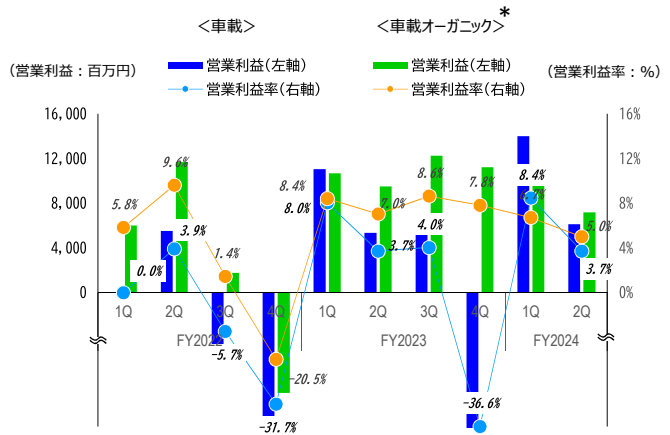
## ■ 車載：四半期別業績推移

FY23の構造改革を経てV字回復へ。収益体質の強化に向けた体制を整備

【売上高の推移】



【営業利益額と営業利益率の推移】

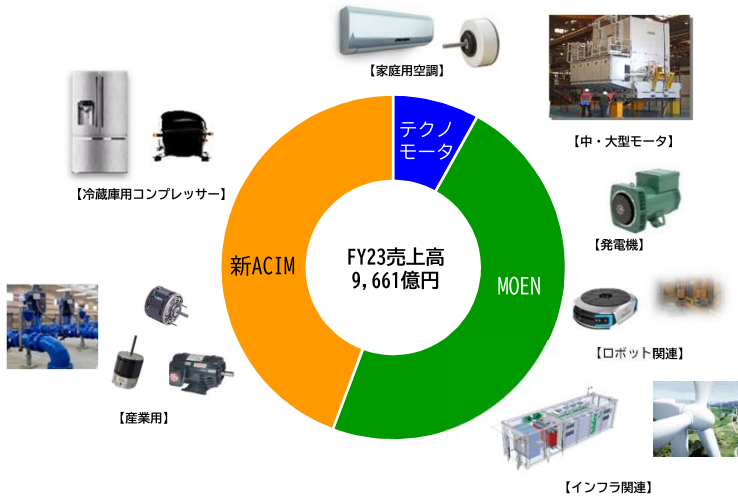


\*車載オーガニック…車載から、EVトランスミッションモータ事業による業績影響を除外したものを。

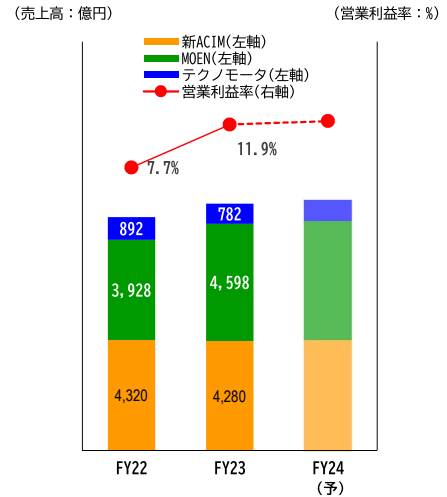
## ■家電・商業・産業用：サブセグメント別業績の内訳と推移

新ACIMとMOENが成長を牽引、収益性も2桁盤石の段階から今後は15%達成を目指す

【家電・商業・産業用の売上高ポートフォリオ】



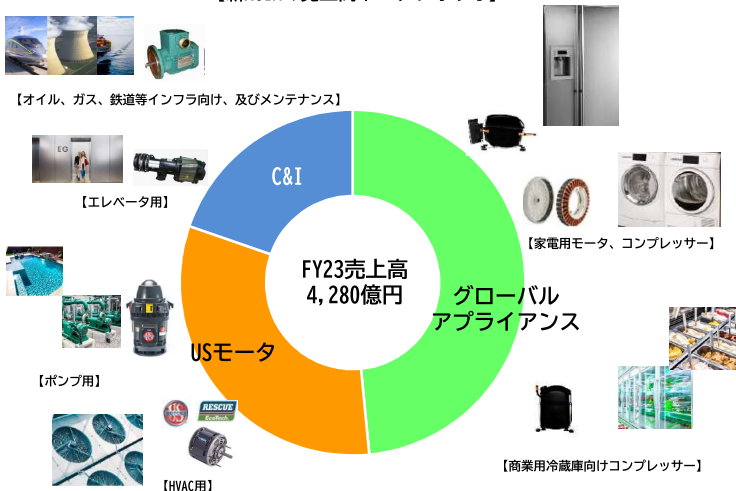
【家電・商業・産業用の売上高と利益率推移】



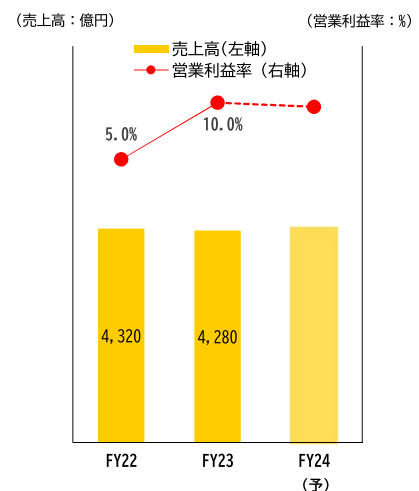
## ■家電・商業・産業用：新ACIM内訳と業績推移

グローバル家電市場は未だ調整局面も、年度後半の復調に期待しつつ収益改善に注力

【新ACIMの売上高ポートフォリオ】



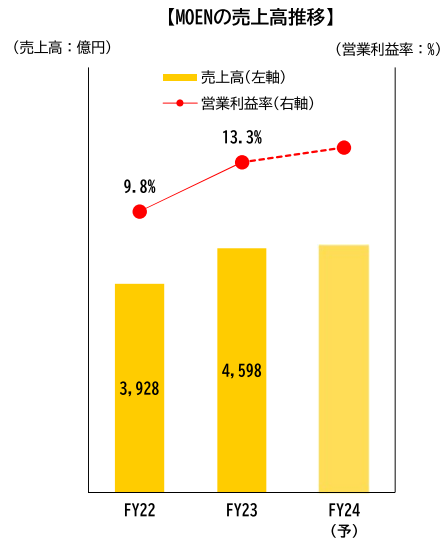
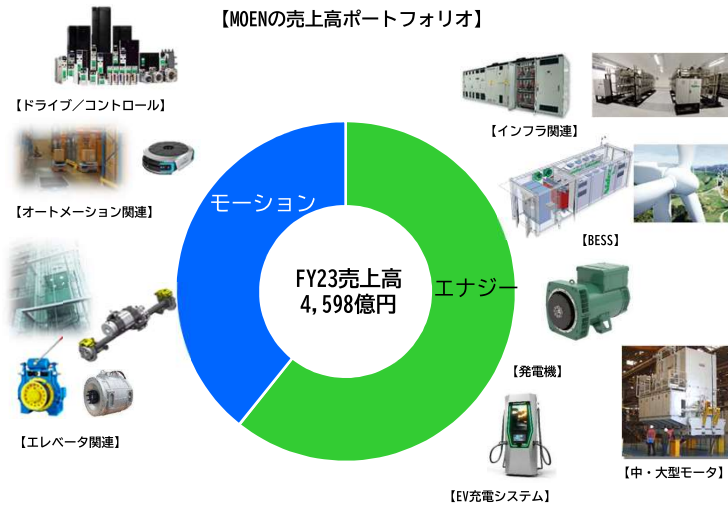
【新ACIMの売上高と利益率推移】





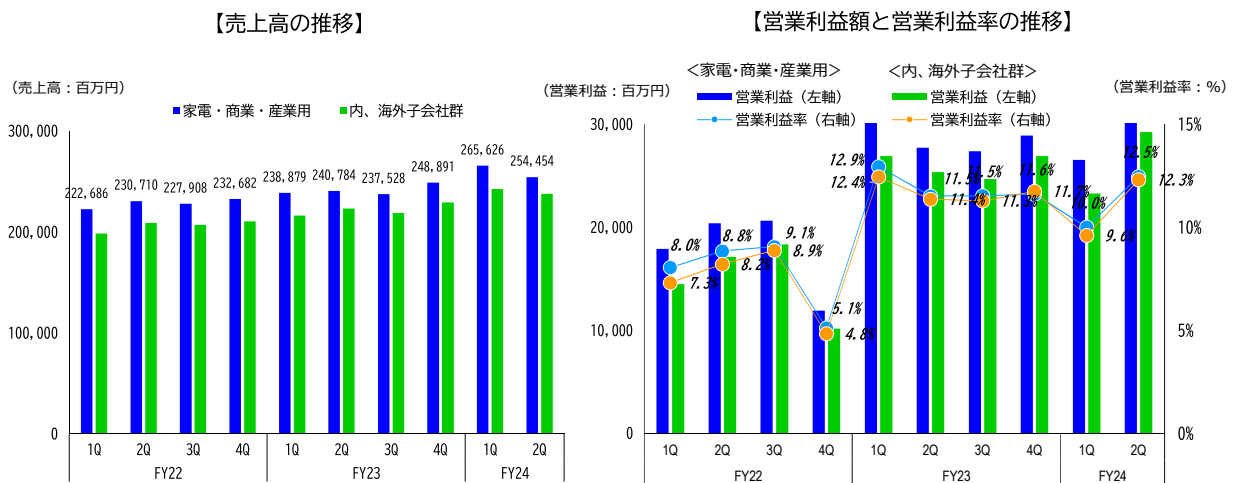
## ■家電・商業・産業用：MOEN事業の内訳と業績推移

産業及びインフラ関連需要は引き続き堅調。着実な収益改善を目指す



## ■家電・商業・産業用：四半期別業績推移

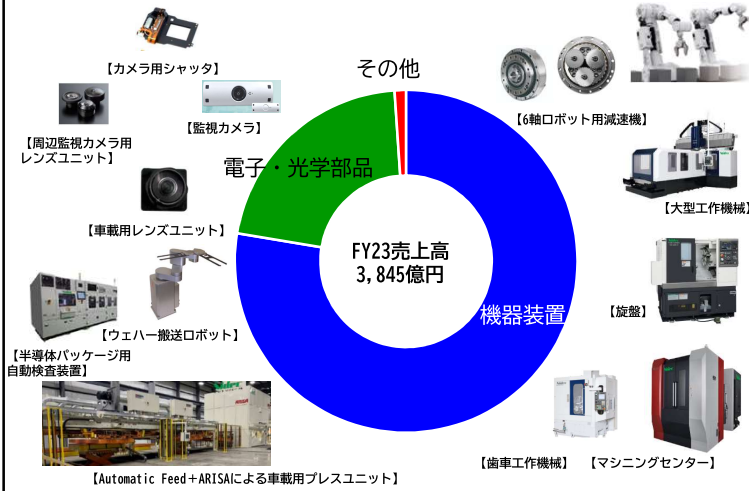
発電機やクリーンエネルギー市場の追い風を受け、海外子会社の収益性改善が進展



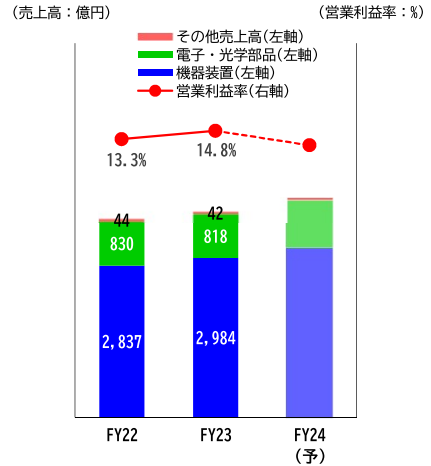
## ■ その他製品グループ：セグメント別業績の内訳と推移

FY23より機械事業本部が始動（減速機・プレス機・工作機械）、機器装置の高成長を牽引

【その他製品グループの売上高ポートフォリオ】

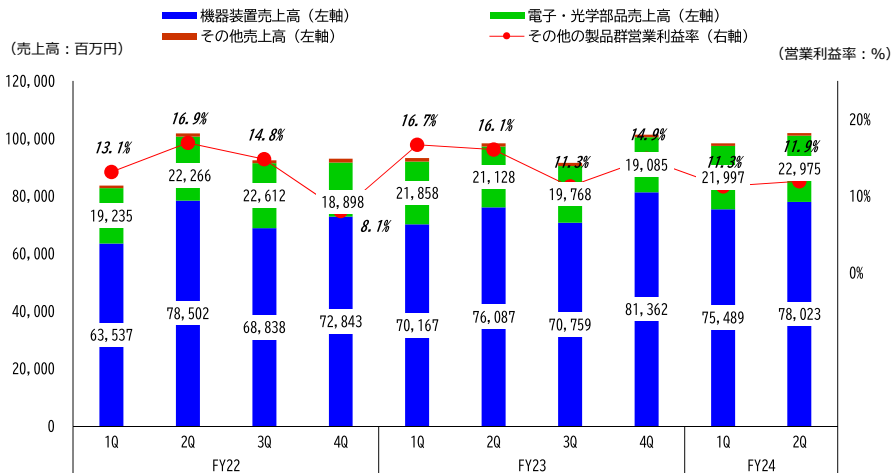


【その他製品グループ売上高推移】

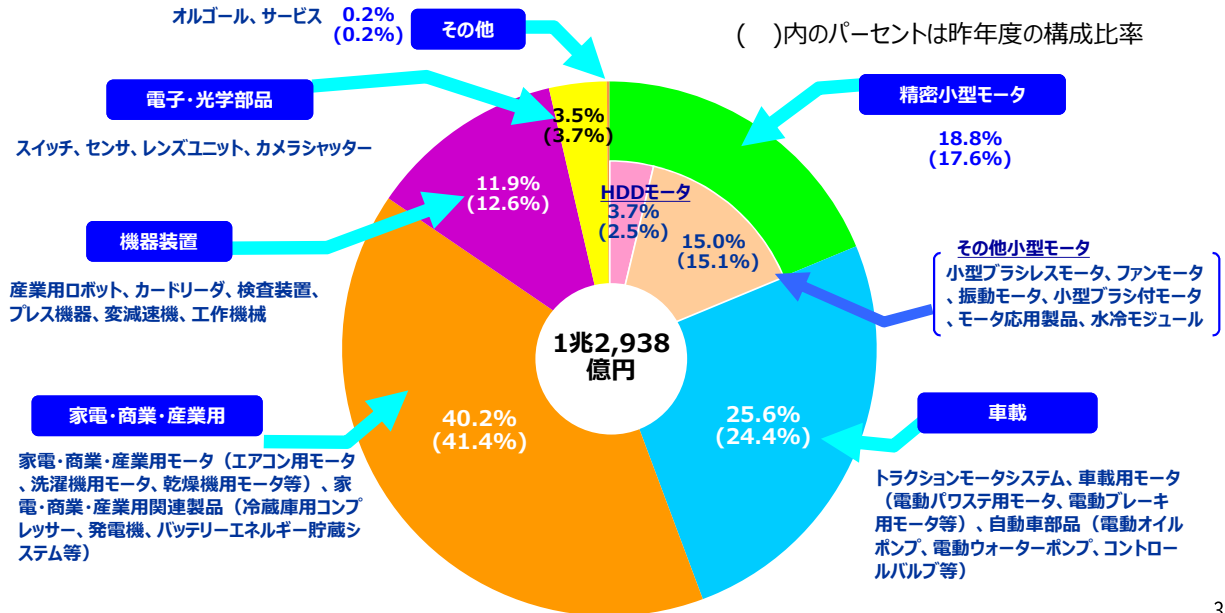


## ■ その他の製品グループ：四半期別業績推移

製品ラインナップの拡充やクロスセルによるシナジー効果を追求、更なる収益性改善を狙う

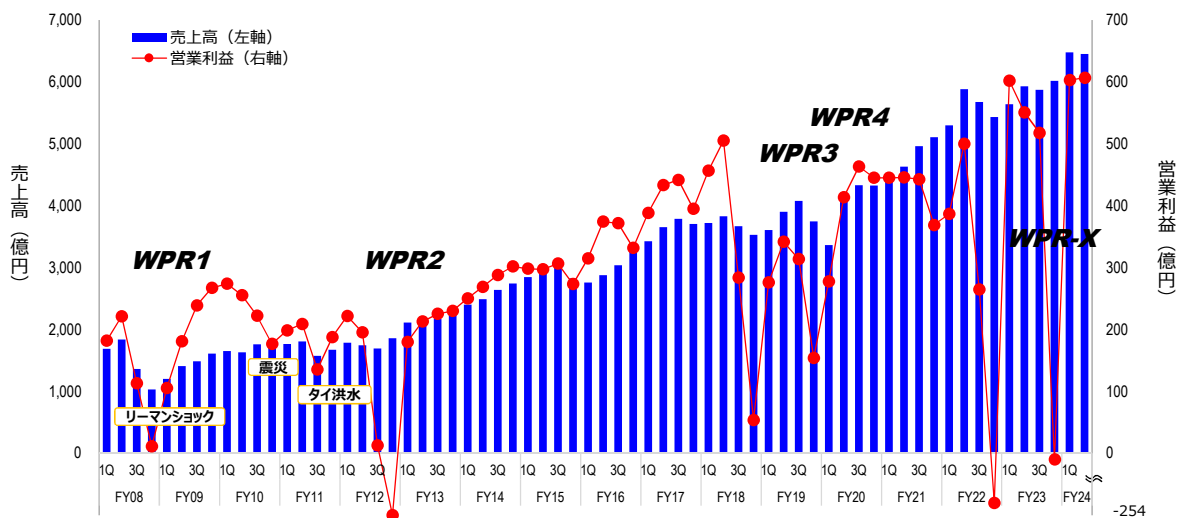


## FY24/2Q、製品グループ別売上構成




## 四半期別の業績推移（売上高・営業利益）

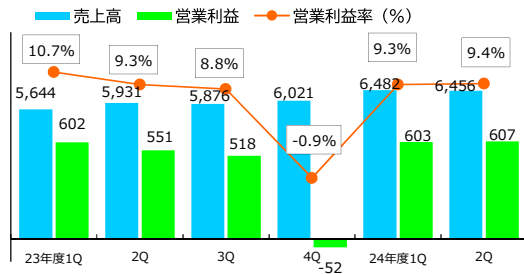
FY23の構造改革を経て、収益体質の改善へ



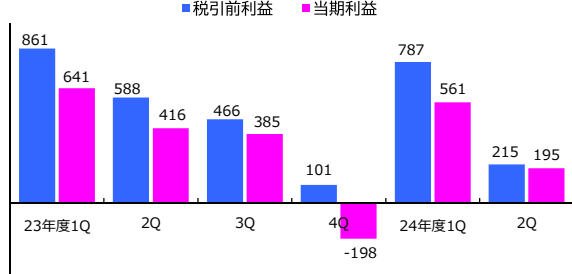
## ■ 連結決算ハイライト

\*22ページに記載の注記にご留意下さい  **All for dreams**

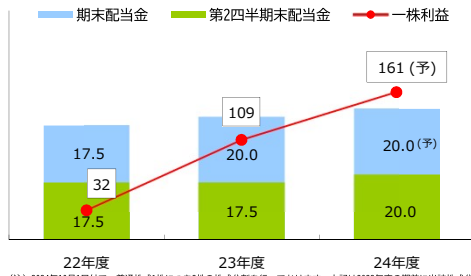
【売上高・営業利益の推移（億円）】



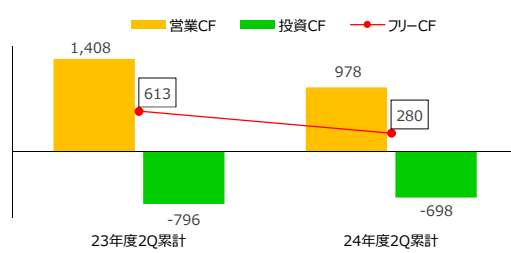
【税引前利益・当期利益の推移（億円）】



【配当金の推移（円）】



【キャッシュフローの推移（億円）】



(注) 2024年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記は2022年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して「一株利益」及び「配当金」を算定しております。